



らぶく La・BOOK

6月号

No.24

三郷図書館の

絵たより講座

三郷図書館では、本年度も6月26日(木)を皮切りに「絵たより講座」を4回実施いたします。日本絵手紙協会会員の堀内征二先生のご指導のもと、最初に筆の持ち方と線の引き方などを習った後、持ち寄った草花や果実等を描きます。



講座風景(三郷公民館)

第3回は、「ふるさとをよく知ろう」ということで野外実習を行う予定です。なお、この講座の開設に当たって、三郷図書館では「絵手紙コーナー」を設けていますので、ぜひご覧ください。



昨年度野外学習(長峰山)

- 第1回 6月26日(木)
 - 第2回 7月24日(木)
 - 第3回 9月25日(木) 野外実習(市内)
 - 第4回 10月23日(木)
- ※講座時間は、午前9時30分～11時30分です。
ただし、野外実習は、少し時間が早まる予定です。

明科図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

龍門淵のいわれ

龍門淵にある龍神宮の祠



明科は水郷といわれ、犀川東岸に沿って流れる前川に突き出た大岩辺りを「龍門淵」といつている。前川の流れは、大きな硬い岩にぶつかり渦をまき、まるで竜が通り抜けたような形の深い淵を作った。この淵は、ここから4キロ離れた松本市四賀五常の法音寺の龍宮淵へ通じているといわれています。

また、「龍神淵」とも古文書に記され、犀川下りの舟は、航路の安全を龍神祠の水霊に念じました。この淵に水神、竜が棲んでいたという伝説から『龍の貸しもの』や『龍門淵悲話』、「行基というお坊さまが、五重塔を建て観音様を納めた」という『龍門淵の白蛇』などが語り伝えられています。

現在は、龍門淵公園として整備され、あやめが植えられ、毎年6月下旬に“信州安曇野あやめ祭り”が開催されています。公園前の前川は、カヌーコースとして愛好者に親しまれています。



<関係資料>

- 『東筑摩郡・松本市・塩尻市誌』第3巻現代下
東筑摩郡・松本市・塩尻市郷土資料編纂会 1965年
- 『明科町史』明科町史編纂会編 1985年
- 『信州民話伝説集成・中信編』はまみつを編著 2006年
- 『犀川の民話』高田充也/郷土出版 1996年
- 『語りつく民話』高田充也著/信濃毎日新聞社 2004年
- 『あづみの明科の民話』あづみ野児童文学学会編 2009年

私と図書館

楽しみは読書と光城山登山 (70代 男性)

私は、今年の二月で七十歳になり「世の中は年金、医療費等も変わり私も歳をとった」と感じています。また、会社経営からは離れられずいますが「今の経営は、昔と違って自ら行動をおこさないと、従業員はついてこない」と、ここでも変化を感じています。

そんな私の楽しみは、休日に行く図書館と光城山に登ることです。孤独になった時に、心の支えになってくれるのが読書です。毎週一冊くらいの割合で読んでいますが、心に残る本に出会った時には、本当に感激します。そして、私は今まで読んだ本をすべて記録に残してあります。

また、休日に行く光城山の登山は、頂上から北アルプス連峰と安曇野市を眼下に臨むことができます。その風景は、目の保養になります。そんな目の保養をし、読書に向けて目を大事にしています。

安曇野市の図書館も今以上に充実すること、楽しみにしています。



5月貸出ランキング

一般書

- 1 山桜記／葉室 麟
- 〃 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 3 女のいない男たち／村上春樹
- 〃 約束の海／山崎豊子
- 〃 日本橋本石町やさぐれ長屋／宇江佐真理
- 6 宰領／今野 敏
- 〃 内通者／堂場瞬一
- 8 神様のカルテ／夏川草介
- 〃 失楽園 上／渡辺淳一
- 〃 村上海賊の娘 上／和田 竜
- 〃 龍の行方／遠藤武文
- 〃 神去なあなあ日常／三浦しをん

児童書

- 1 がたんごとんがたんごとん／安西水丸
- 2 かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 3 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 4 そらまめくんとめだかのこ／なかやみわ
- 5 あそびましょ／かどのえいこ
- 6 14ひきのあさごはん／いわむらかずお
- 〃 冒険！発見！大迷路スコルピオンの秘密基地／原 裕朗

AV 資料

- 1 魔女の宅急便／角野栄子原作
- 2 岳／片山 修監督
- 〃 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 〃 西の魔女が死んだ／長崎俊一監督
- 5 おじゃる丸／大地丙太郎製作
- 〃 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 苦役列車／山下敦弘監督
- 〃 決定版！！「フォークの時代」ベスト／ポニーキャニオン
- 〃 幸せへのキセキ／キャメロン・クロウ監督
- 〃 シザーハンズ特別編／ティム・バートン監督
- 〃 風の谷のナウシカ／徳間ジャパンコミュニケーションズ
- 〃 図書館戦争／佐藤信介監督
- 〃 のりもの探検隊／NHK サービスセンター
- 〃 爆笑スーパーライブ第3集／綾小路きみまろ

中央図書館から

本のソムリエ（職員）おすすめ本

一般書 『はるか遠く、彼方の君へ』

安澄加奈／ポップ

表紙

安曇野市出身の若手作家がおくる待望の第2作目です。主人公の夕鷹をはじめ3人の高校生がタイムスリップしたのは源平合戦の真ただ中でした。義経と出会い、現代へ帰ろうと行動を共にしますが、歴史の結末を知るのがゆえに……。果たして3人は帰ることができるのか。そして、夕鷹たちの成長と人々との心の交流も注目です。読みだしたら止まらない和製ファンタジーをぜひお楽しみください。

児童書

『ひみつの空のにわ』 山本やすえ／大日本図書

表紙

変わり者のなつめといっしょに下校することになったようこ。2人がモンシロチョウを追いかけて角を曲がると、そこには「であったら、よくないことがおきる」というウワサのおばあさんが。「ねえ、あとをつけてみようよ」こわくて早く帰りたと思っていたようこですが、なつめといっしょに最後までついていってみると、そこには…？
自分の目で見ること、確かめることの大切さとドキドキが伝わってくるおはなしです。

中央図書館

休館のお知らせ

年1回の特別整理期間と休館日のため、6月16日（月）～6月23日（月）の8日間は休館しますので、ご理解とご協力をお願いします。



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-5796
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)

<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

夏目漱石の代表作『こころ』が、朝日新聞に掲載されてから100年が経つ。
 学生による手記の体裁を取った「先生と私」「両親と私」「先生と遺書」の3部構成になっている。
 再び朝日新聞で連載しているのでもう読んでみたいと思う。